

<質問>

Q1.パーキンソン病のうちのおばあちゃんは、病院に行くのを嫌がることがしばしば。。訪問サービスなどは、どのような治療をしてくれますか？

(RN:うめちゃん さん)

A1.ありがとうございます。病院受診を拒否される方に遭遇することも多々あります。まず、本人さんがなぜ、病院に行くのを嫌がるのか一緒に考えてあげることが必要ですね。中には身支度をするのがめんどくさいや、歩くのがしんどい、痛いなどの理由が聞かれることがあります。パーキンソン病があるとのことなので、歩行障害なども考えられ、歩くこと、外出することに抵抗があるかもしれませんね。訪問系サービスでは、医師による往診や、訪問看護・リハビリなど自宅でも必要な看護や、機能訓練などのリハビリを受けることが可能です。かかりつけ医やもし、介護保険の認定を受けているのであれば、担当のケアマネージャーさんなどにご相談してみてもいいかもしれませんか？

Q2.子どもの発達障がいとは、どのような治療やリハビリを行って貰えるのでしょうか。

(RN:合宿免許 さん)

A1.発達障がいといっても様々で、先天性や後天性の病気等により身体が不自由な子どもに対して、身体機能的なリハビリテーションを行ったり、一見では分かりにくい、コミュニケーションや対人関係に問題をかかえる発達障がいに対する療育を行う作業療法士もいます。子どもの分野の作業療法士が働く場としては、小児科病院や訪問看護・リハビリや児童福祉施設などがあります。身体面や認知面への支援、社会生活場面でのサポートなど幅広く行っています。